作词：松井洋平

作曲：佐々木裕

閉じ込められている砂の

被尘封起来的沙粒所  
零れていく音色…ねぇ、聴こえているでしょう？

洒落而出的音色…呐，你是否听得见呢？  
限られた未来が落ちていくのを

有限的未来正渐渐崩塌  
眺めるだけなんて、嫌

却仅可在一旁眺望，我不要

星の数ほどあるはずなのに

明明应该像星星般数不胜数  
この掌に数えるくらい

而只能在手掌中屈指细数

たった一粒でもかけがえのないモノ

仅此一粒也无可取代的事物  
輝きに変えながら叶えていきたいの

想要在它焕发光芒之时让我愿望成真  
たった一つだけのかけがえのない夢

仅此一个也无可替代的梦想  
あなたにも見えたのなら…手を差し伸べて、硝子の外へ

如果你也能看到的话…请伸出这双手，向着玻璃的外面

引いては寄せてくる波が

潮起又潮落的海浪正  
攫っていく日々に…ねぇ、何を感じてるの？

将每日的时光冲逝…呐，你有何感想呢？  
砂に書いた文字が消えていくのを

写在沙上的文字正渐渐消去  
悲しむだけなんて、嫌

唯独悲伤却是，我不要

この掌で掬えないなら

倘若我手掌难以掬取的话  
あなたの両手重ねて欲しい

希望你能用双手好好捧住它

たった一粒でも大切にしたいの

仅此一粒也想要视若珍宝的  
時という宝石に誰も気付かないの？

名为时间的宝石为何谁人也没在意？  
たった一つだけのかけがえのない夢

仅此一个也无可替代的梦想  
あの星に届かせたい…私の歌を、願いを込めて

希望能传达至那颗星…以我的歌声，贯注我心愿

たった独りきりじゃ叶えられないから…

因为只靠我一人是无法实现的…

たった一粒でもかけがえのないモノ

仅此一粒也无可取代的事物  
輝きに変えたなら星に届かせたい

想要在它焕发光芒之时传达给那颗星  
たった一つだけのかけがえのない夢

仅此一个也无可替代的梦想  
叶ったら流すのかな…たった一粒、輝く涙

愿望成真也会流逝吗…仅此一滴的，闪耀的泪水

たった一粒でもかけがえのないモノ

仅此一粒也无可取代的事物  
たった一つだけのかけがえのない夢！

那仅此一个也无可替代的梦想！